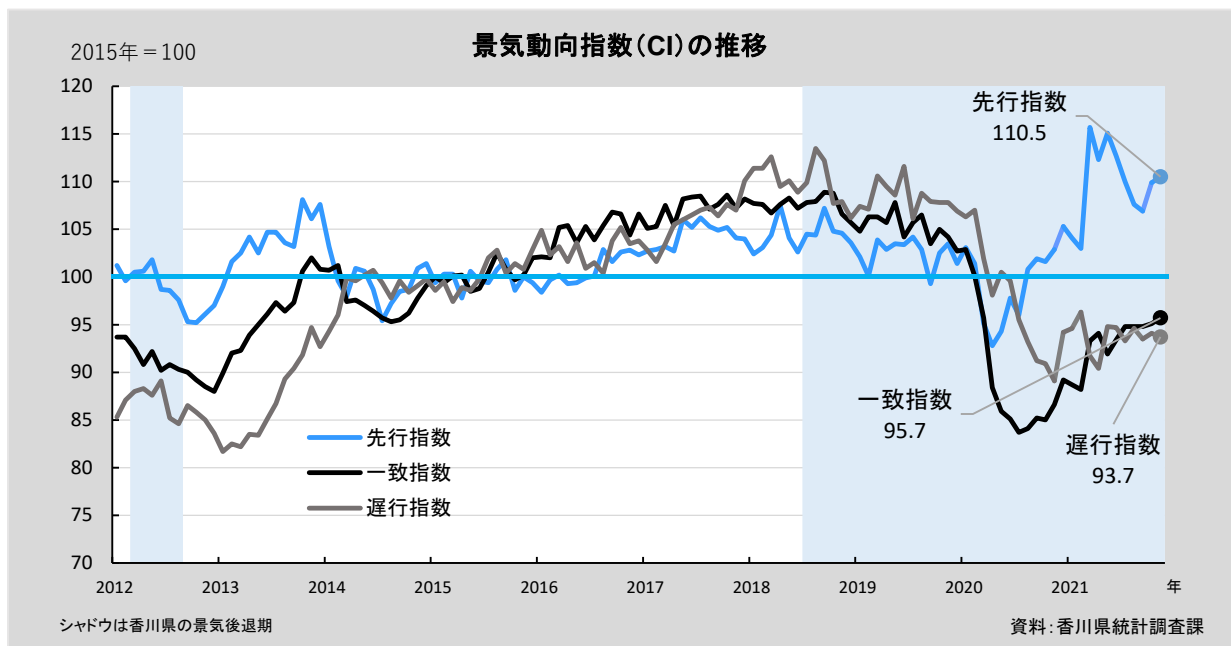


概況	景気は緩やかに持ち直しつつあるが、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響で一部に弱い動きがみられる。
個人消費	サービス消費を中心に弱い動きがみられ、持ち直しが一服している。
住宅投資	持ち直しの動きが一服している。
公共投資	減少している。
生産活動	持ち直しの動きが一服している。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出は減少、輸入は増加している。
観光	弱い動きの中、持ち直しの兆しがみられる。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月連続上昇



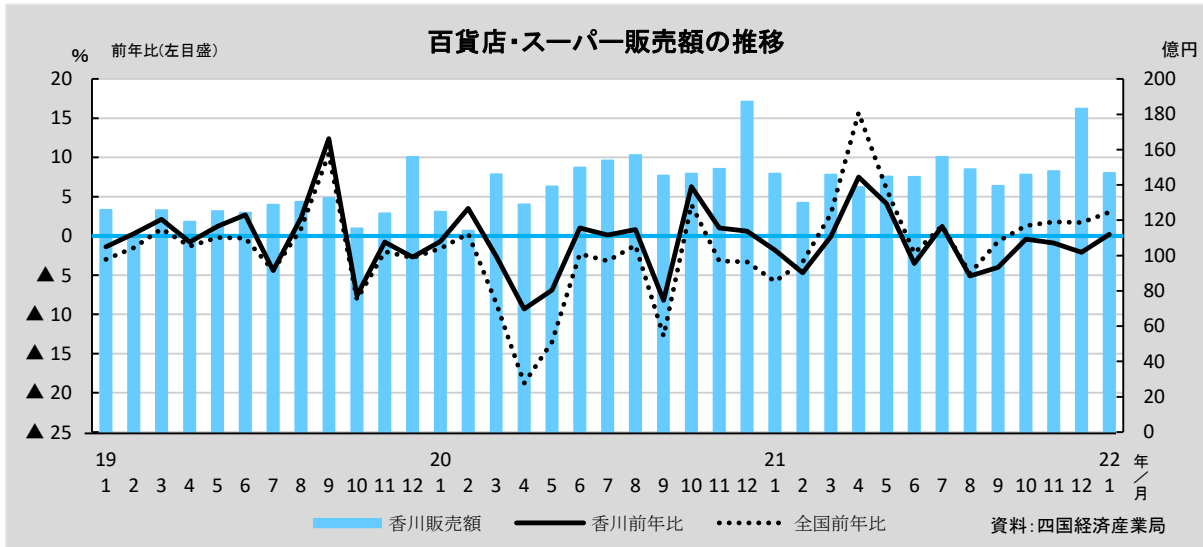
景気の現状をみると、12月のCI一致指数は95.7（前月比+0.6ポイント）と2カ月連続で上昇。CI先行指数は110.5（同+0.6ポイント）と2カ月連続で上昇。CI遅行指数は93.7（同▲0.4ポイント）と2カ月ぶりに下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、所定外労働時間指数、有効求人倍率、建築着工床面積等が上昇に寄与したことにより、前月から0.6ポイントの上昇となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用景気指標	1 新規求人数	1.14	1 雇用保険受給者実人員	0.16	1 常用雇用指数	▲ 0.11
	2 乗用車新車登録台数	▲ 0.46	2 有効求人倍率	0.35	2 有効求職者数	▲ 1.19
	3 鉱工業在庫率指数	1.23	3 所定外労働時間指数	0.47	3 消費者物価指数	0.55
	4 生産財生産指数	▲ 0.37	4 鉱工業生産指数	▲ 0.41	4 家計消費支出	▲ 0.19
	5 新設住宅着工戸数	▲ 0.19	5 鉱工業出荷指数	0.00	5 鉱工業在庫指数	0.10
	6 金融機関貸出残高	▲ 0.41	6 建築着工床面積	0.30	6 法人事業税調定額	0.12
	7 消費者態度指数	▲ 0.26	7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.26	7 第3次産業活動指数	0.44

●百貨店・スーパー販売額

6カ月ぶり増加 




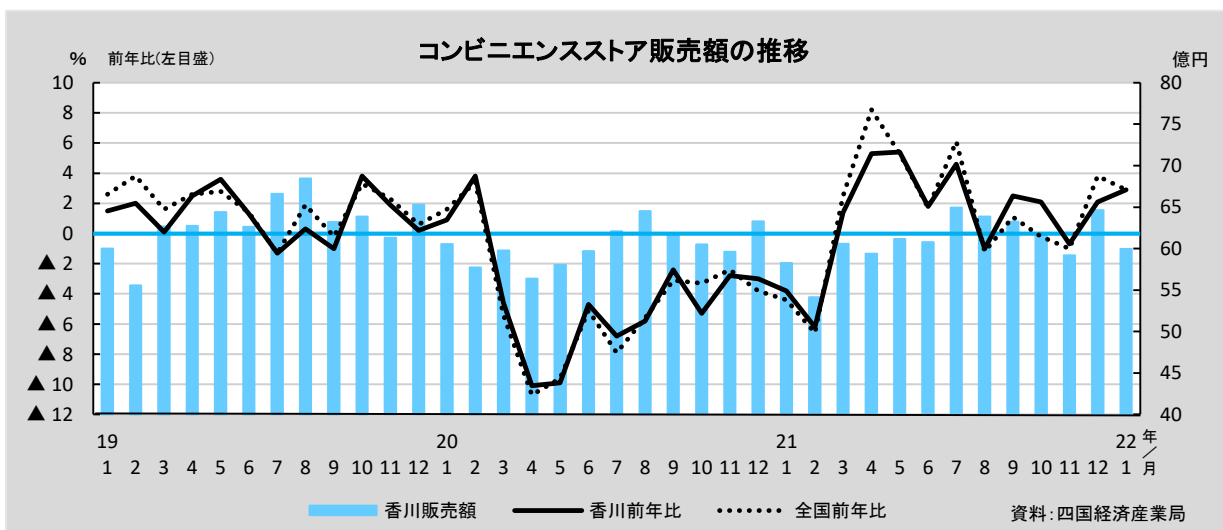
2022/1月	衣料品	身の回り品	飲食物品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	107,020	62,327	1,082,788	2,881	6,499	27,117	178,084	418	1,467,134
前年同月比(%)	▲5.8	▲3.7	▲2.2	▲13.1	▲24.2	▲71.8	▲36.4	▲29.3	0.2

1月の百貨店・スーパー全店（84店）の販売額は、146.7億円で前年同月比+0.2%と6カ月ぶりに増加した。初売りや福袋の販売が好調で、「衣料品」が前年同月比+5.8%、「飲食物品」が同+2.2%と前年を上回った。

一方、「身の回り品」は靴やバッグが低調で同▲3.7%となった。

●コンビニエンスストア販売額

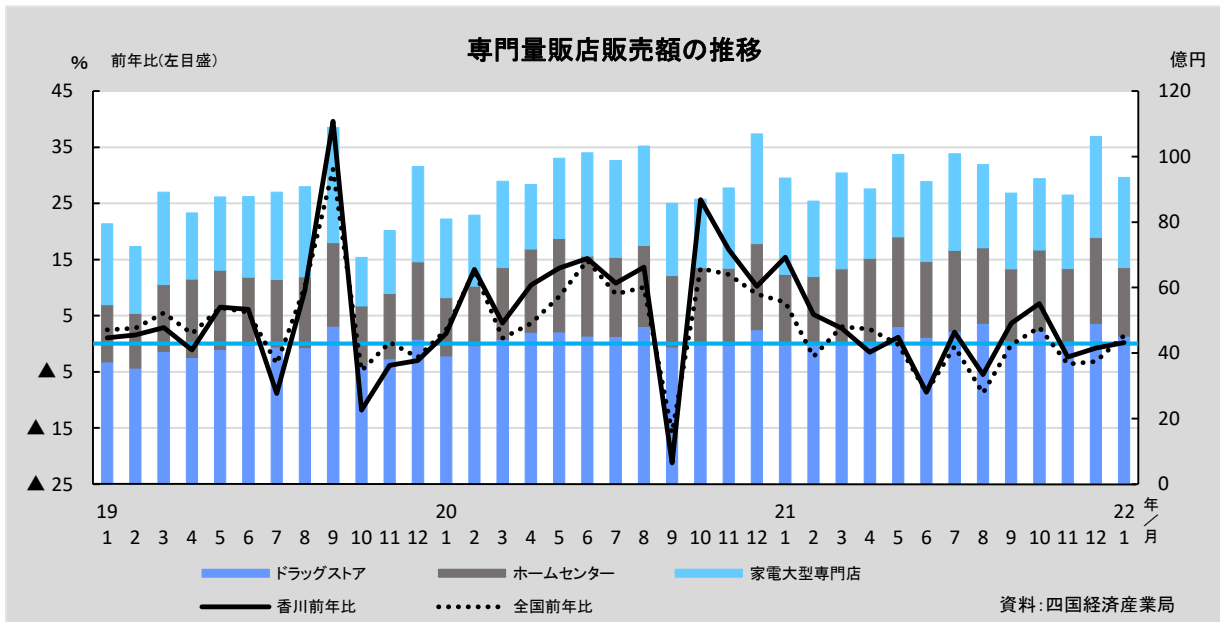
2カ月連続増加 



1月のコンビニエンスストア全店（409店）の販売額は60.0億円で、前年同月比+2.9%となった。冷凍食品やアルコール飲料、タバコなどが好調で、2カ月連続で増加となった。

● 専門量販店販売額

3 カ月ぶり増加

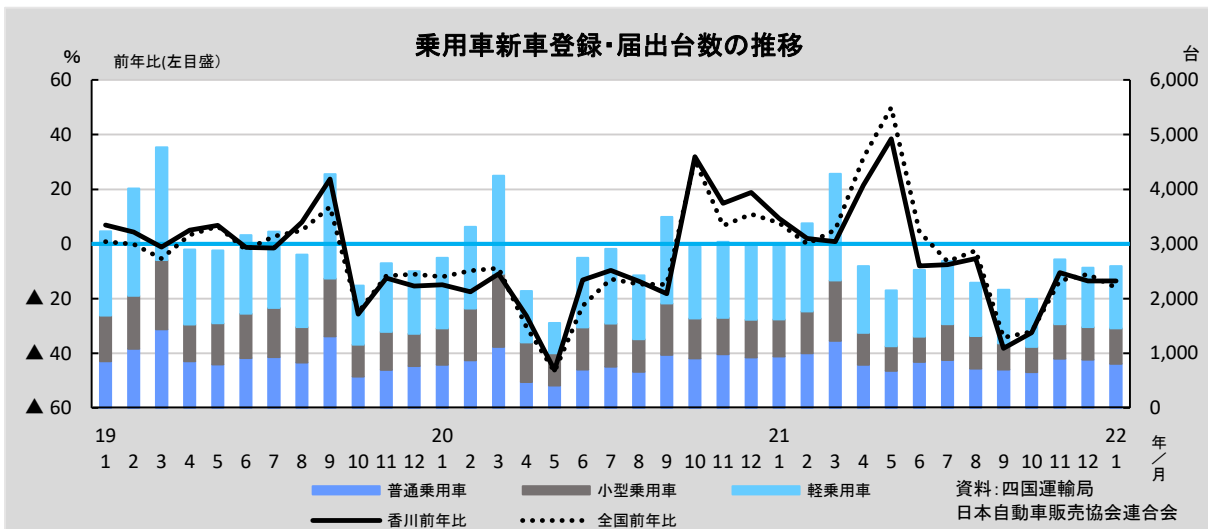


1月の専門量販店全店（208店）の販売額は93.7億円で、前年同月比+0.2%と3カ月ぶりに増加した。

業態別にみると、パソコンや空気清浄機が低調で家電大型専門店（29店）の販売額は、27.5億円で前年同月比▲6.4%となった。ドラッグストア（133店）は、冷凍食品や医薬品が好調で、販売額は45.2億円で同+3.7%となった。ホームセンター（46店）はDIY用具などの動きが良く、またウッドショックや原油価格高騰にともない木材や灯油の価格が上昇し、販売額は21.0億円で同+2.2%となった。

● 乗用車新車販売台数

8 カ月連続減少



1月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,597台で、半導体不足や新型コロナウイルス感染拡大で部品供給の停滞が続き、前年同月比▲13.5%と8カ月連続で減少した。

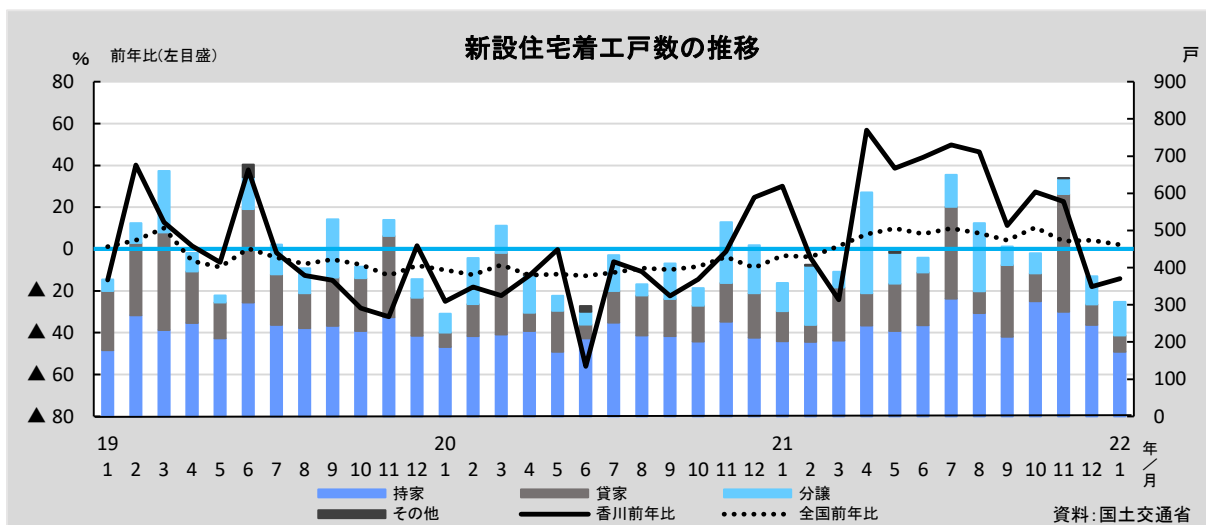
車種別にみると、普通乗用車で前年同月比▲14.5%、小型乗用車で同▲4.0%、軽乗用車で同▲17.5%となった。

住宅投資

持ち直しの動きが一服している

●新設住宅着工

2カ月連続減少



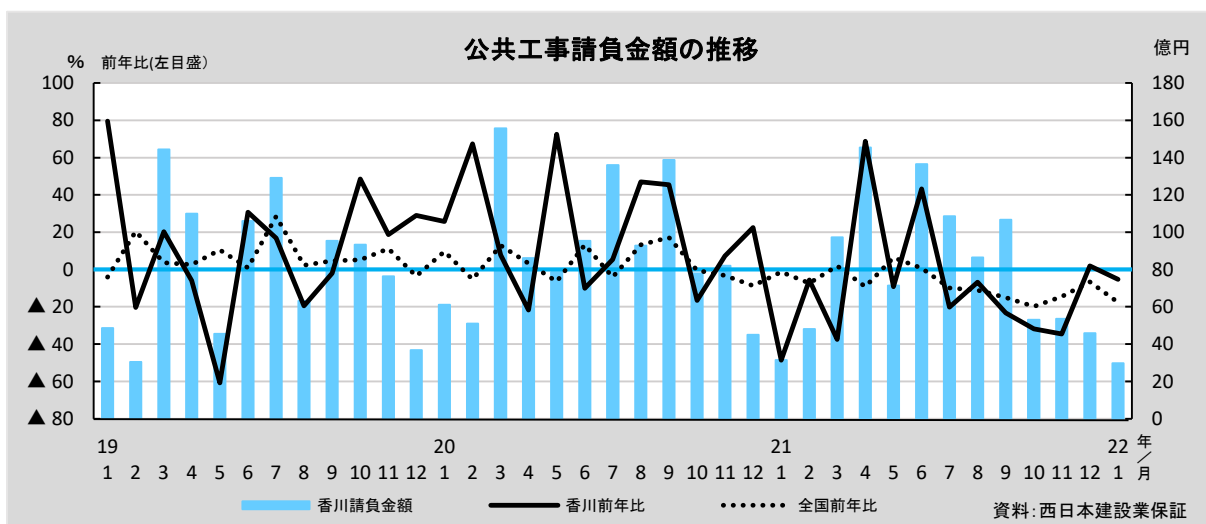
1月の新設住宅着工戸数は308戸で、前年同月比▲14.2%と、2カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲13.9%、**貸家**で同▲45.7%、**分譲住宅**で同+18.4%となった。

公共投資

減少している

●公共工事請負金額

2カ月ぶり減少



1月の公共工事請負金額は29.7億円で、前年同月比▲5.3%と2カ月ぶりに減少した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲81.9%、**県**で同▲15.3%、**市町**で同+46.5%となった。

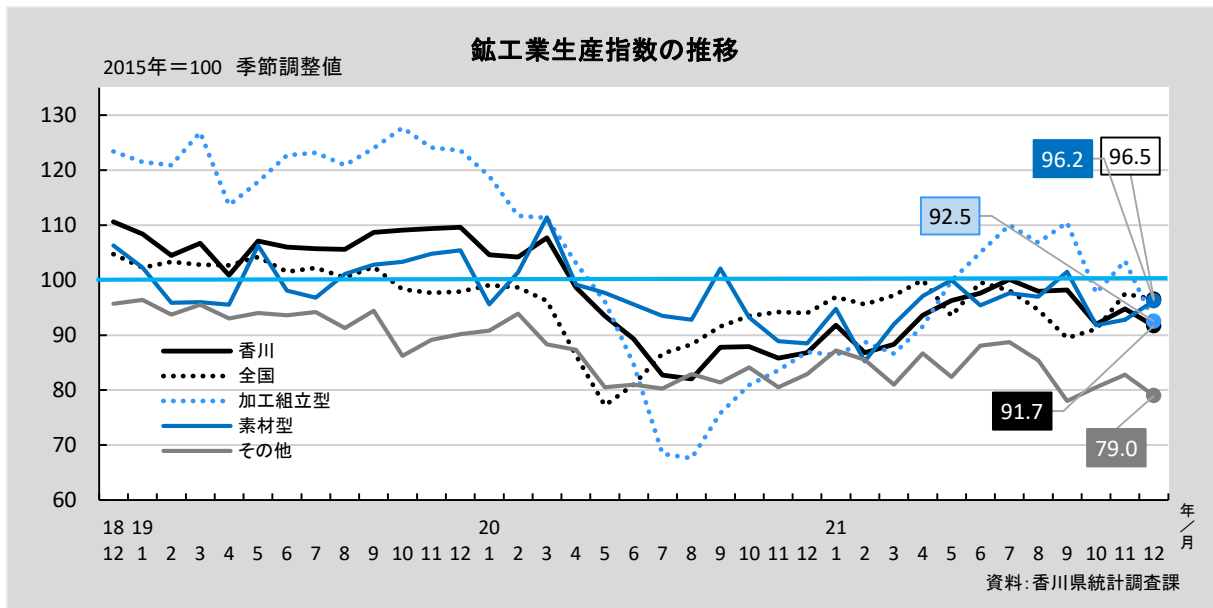
2021.4月～2022.1月の累計では前年同期比3.1%減少している。

生産活動

持ち直しの動きが一服している

● 鉱工業生産指数

2カ月ぶり低下 ↓



12月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は91.7（前月94.8）となり、2カ月ぶりに低下した。

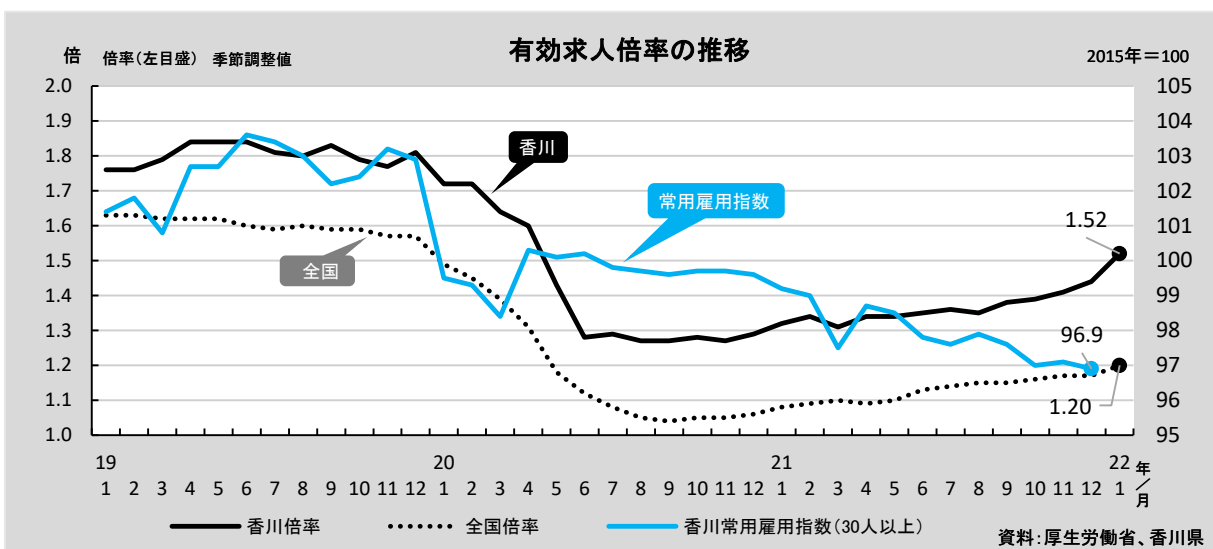
業種別では、加工組立型の輸送機械工業（鋼船など）は前月比▲25.9%、その他業種の食料品工業（食用油など）は同▲10.4%と低下した。一方、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は同+17.2%と上昇した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

5カ月連続上昇 ↑



1月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.52倍（全国6位）と前月より0.08ポイント上昇した。

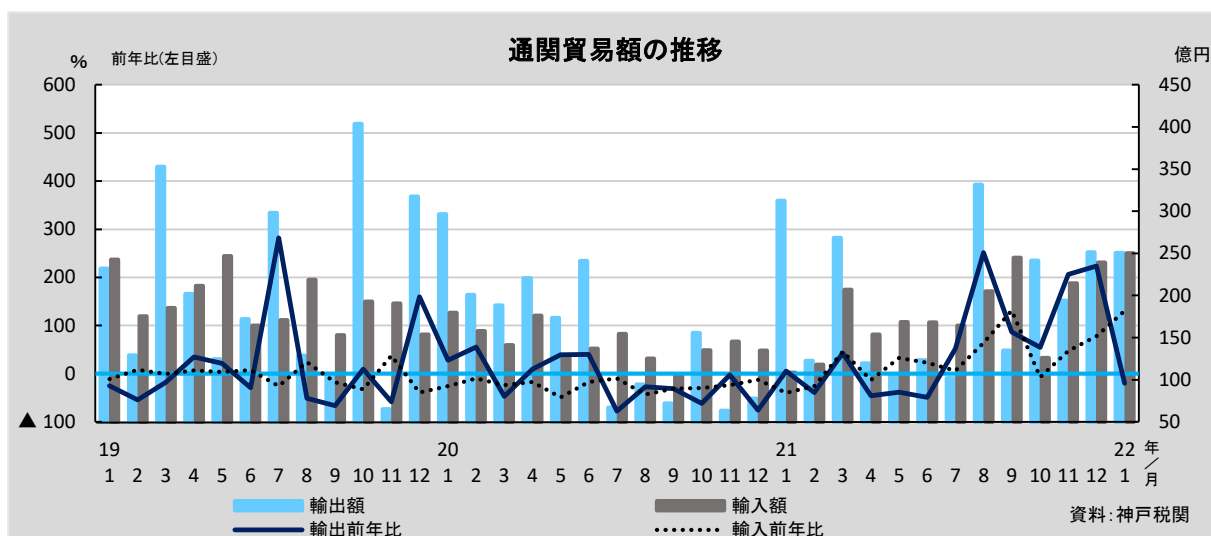
新規求人（原数値：前年同月比）は、金融業・保険業・サービス業（他に分類されないもの）、農・林・漁業、製造業等で増加し、全体で+16.5%と10カ月連続で増加した。

12月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、96.9となり、前年同月比は29カ月連続で低下した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.49
事務的職業	0.67
販売の職業	2.56
サービスの職業	3.37
生産工程の職業	2.65
輸送・機械運転の職業	2.34
建設・採掘の職業	6.40
運搬・清掃・包装等の職業	1.19

貿易

輸出は減少、輸入は増加している



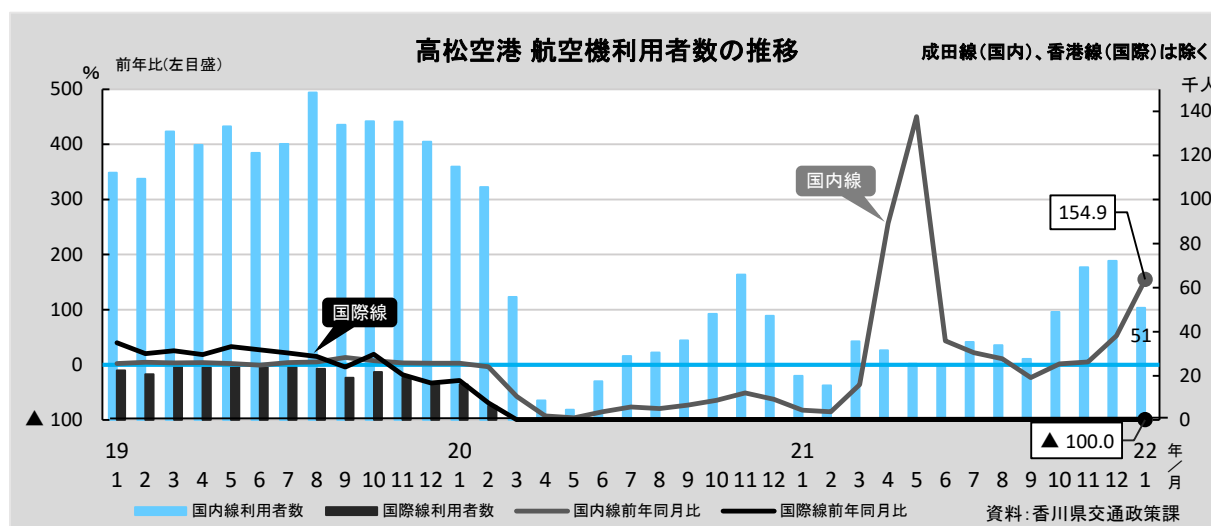
1月の輸出額は前年同月比▲19.8%の250.5億円、輸入額は同+133.0%の250.0億円となり、差し引き0.5億円の出超となっている。

輸出は、貨物船輸出額が前年同月比▲85.8%の24億円となった。輸入は、石炭輸入額が同7.9倍の135億円となった。

交通

国内線は4カ月連続増加、国際線は23カ月連続全面運休

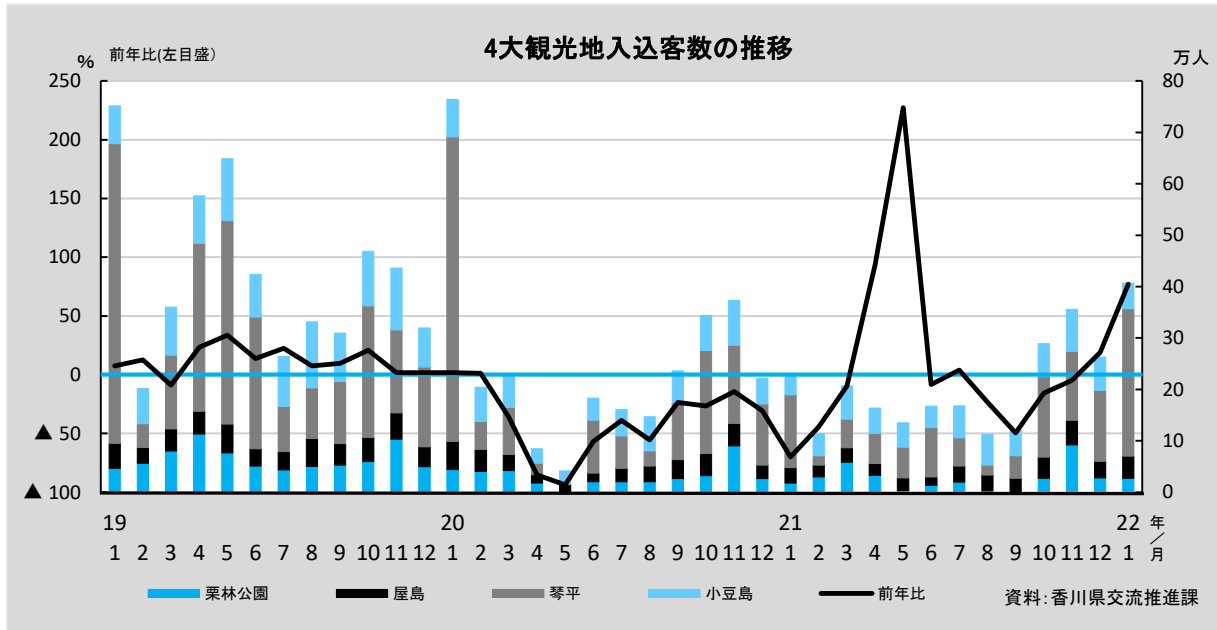
●高松空港旅客輸送実績



1月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が50,911人(前年同月比+154.9%)となり、4カ月連続で増加した。羽田線は48,838人(前年同月比+163.3%)、那覇線は2,073人(同+45.6%)となった。コロナ禍以前の2020年同月比は▲55.7%となった。

国際線(ソウル・上海・台北線)は新型コロナウイルスの影響により23カ月連続の全面運休となった。

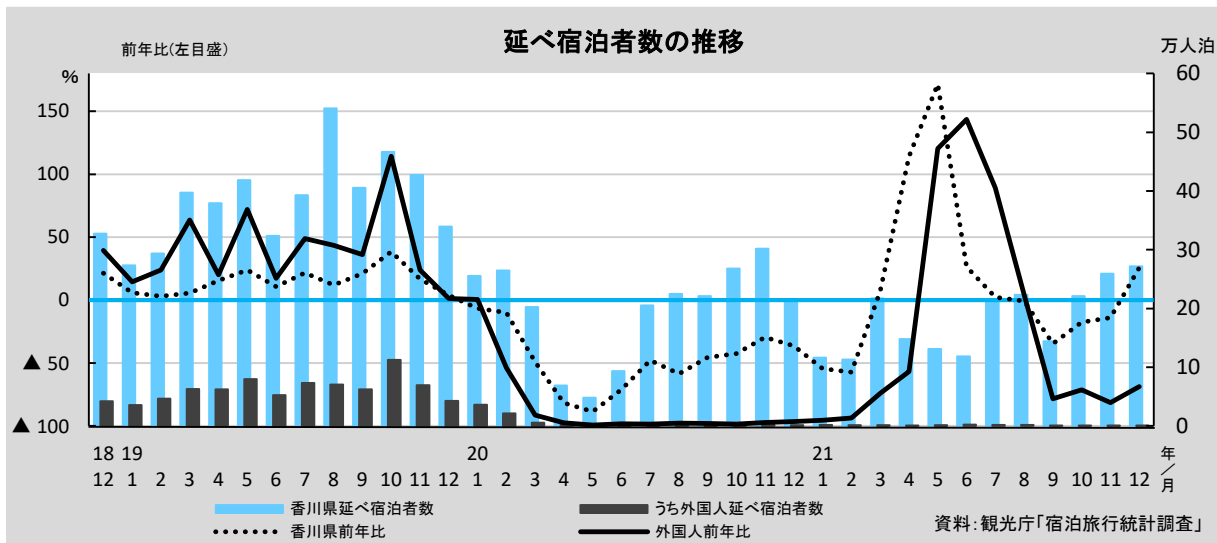
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計
1月(人)	前年同月比	27,268	42,718	287,000	49,871	406,857
		52.1%	44.4%	102.1%	23.8%	77.1%

1月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+77.1%と2カ月連続で増加した。1月21日からコロナ感染再拡大によるまん延防止等重点措置が適用されたが、月前半は好調で4カ所全てが高い伸び率となった。

●延べ宿泊者数



12月の延べ宿泊者数は271,910人で、前年同月比+25.7%と5カ月ぶりに増加した。コロナ禍以前の2019年同月比では▲19.9%となった。

うち、外国人延べ宿泊者数は470人となり、前年同月比▲68.7%と4カ月連続で減少した。2019年同月比では▲98.9%となった。